

	No.	1
	名 称	木下貝層
	キャッチコピー	「古東京湾に生息していた貝類が眠る地層」
	時 代	約12万年前
	所在地	印西市木下
	アクセス	JR木下駅から徒歩10分 駐車場有
	見 所	約12万年前に関東平野一円に広がった古東京湾の浅い海に生息していた、貝類の化石を多量に含む地層。強く固まった貝化石層は地域の石材として古くは古墳の石室から、石灯籠などに用いられた。

	No.	2
	名 称	犬吠埼の白亜紀浅海堆積物
	キャッチコピー	「恐竜時代に嵐の海でつくられた地層」
	時 代	約1億2000万年前
	所在地	銚子市犬吠埼
	アクセス	銚子電鉄犬吠駅から徒歩10分 駐車場有
	見 所	中生代白亜紀の浅い海で形成された地層。大嵐の時に海底に形成される堆積構造や、海底で生物が生活した跡(生痕化石)がみられる。また、アンモナイトなどの化石も産出する。

	No.	3
	名 称	屏風ヶ浦
	キャッチコピー	「東洋のドーバーとも呼ばれる長大な海食崖」
	時 代	約1万年前～現在 (地質は約300万～10万年前)
	所在地	旭市・銚子市
	アクセス	JR旭駅、JR銚子駅からバス。 駐車場有
	見 所	雄大でダイナミックな地形景観が見られる。崖面には地層が広く露出し、不整合や海底地すべり層、各種火山灰層などみどころが多い。

	No.	4
	名 称	養老川流域田淵の地磁気逆転地層
	キャッチコピー	「チバニ안의始まりの地層」
	時 代	約77万年前
	所在地	市原市田淵
	アクセス	小湊鐵道月崎駅から徒歩25分 駐車場有
	見 所	最も新しい地磁気の逆転を記録した地層が見られる。明瞭な白色の火山灰層が挟まれており、この火山灰層の下面がチバニ안의始まりと定義されている。

	No.	5
	名 称	上総丘陵の砂岩泥岩互層
	キャッチコピー	「海底土石流でつくられた地層」
	時 代	約100万年前
	所在地	いすみ市文化とスポーツの森
	アクセス	いすみ鉄道国吉駅から徒歩25分 駐車場有
	見 所	砂岩泥岩互層は深い海の土石流による堆積物。砂岩泥岩互層は上総丘陵に広く分布しているが、いすみ市文化とスポーツの森入口の露頭は観察に適している。

	No.	6
	名 称	鋸山の「房州石」
	キャッチコピー	「明治の近代化を支えた石材」
	時 代	約200万年前
	所在地	富津市鋸山
	アクセス	JR浜金谷駅からロープウェイ 駐車場有
	見 所	江戸時代末から昭和時代にかけて大規模に切り出されていた石材で、切り出し跡が明瞭に残されている。良質な岩石が鋸山の山頂部にしか分布しないという地質条件と大きく関係している。

	No.	7
	名 称	勝浦鵜原の黒滝不整合
	キャッチコピー	「地層中に存在する大きな時代のギャップ」
	時 代	約250万年前
	所在地	勝浦市吉尾
	アクセス	JR鵜原駅から徒歩20分 駐車場有
	見 所	房総半島中部に存在する大きな不整合(地層の形成の間に大きな時間の隔たりがあったことを示す)で、プレート運動の変化によって形成された可能性がある。周辺の家食崖には広く地層が露出し、見所が多い。

	No.	8
	名 称	鴨川松島
	キャッチコピー	「異なる岩石からなる不思議な島々」
	時 代	約7000年前～現在(岩石は約4000万年前)
	所在地	鴨川市貝渚
	アクセス	JR太海駅から徒歩20分 駐車場有
	見 所	大小の島々が点在し、それぞれが異なる岩石から構成されている。千葉では珍しい火成岩が産出する嶺岡山系の地質構造や成因を暗示する。

	No.	9
	名 称	保田層群のカオス層
	キャッチコピー	「プレートの沈み込みでつくられた混沌とした地層」
	時 代	約1800万年前
	所在地	鴨川市江見
	アクセス	JR江見駅から徒歩20分 駐車場有
	見 所	日本でも最も新しい新第三紀のプレート付加体(プレートの沈み込みによって海溝付近で作られた地層)からなる。地層がずたずたに分断され、混沌とした様子を示す。

	No.	10
	名 称	沼サンゴ層
	キャッチコピー	「縄文時代の暖かい海の様子がわかる地層」
	時 代	約7000年前
	所在地	館山市沼
	アクセス	JR館山駅から館山航空隊行きバス「西の浜海岸通」下車、徒歩15分 駐車場無
	見 所	約7000年前の縄文時代の温暖期に堆積した地層。当時の館山湾内で繁栄したサンゴ礁の化石を多量に含む。サンゴの種類は約80種におよび、現在の鹿児島南部から奄美大島に生息するサンゴの種数に匹敵する。

	No.	11
	名 称	白浜の海底地すべり堆積層
	キャッチコピー	「海底地すべりで破壊された地層」
	時 代	約200万年前
	所在地	南房総市白浜町白浜
	アクセス	車で安房グリーンライン「安房白浜トンネル」北側出口駐車場有
	見 所	巨大地震による海底地すべりによって破壊された堆積層の全体像が、大規模な露頭で観察できる。地層が人家ほどの大きさのブロックに分かれ、それが上下さかさまになっている様子は壮観。